



主な内容

- 大雪がJAそらち南を直撃
- 栗山地区農事組合長会議開催
- 年金友の会温泉湯治の旅
- 青年部・女性部通常総会開催
- 平成23年度自治区長・農事組合長名簿
- 営農技術情報
- 営農計画書受付日程のお知らせ
- 各地区の作業風景 ...etc

～青年部・女性部の新体制決定～

1月14日、1月21日に青年部と女性部の通常総会がそれぞれ開催されました。

双方の総会とも平成22年度事業報告および収支決算が報告・承認され、平成23年度の執行部役員、事業計画案、収支予算案が審議・承認されて、晴れて平成23年度の活動がそれぞれスタートを切りました。

ＪＡそらち南管内でも断続的な大雪

ビニールハウス倒壊など雪害相次ぐ

昨年から今年にかけて、日本海沿岸の地域を中心に全国各地で記録的な大雪に見舞われました。

北海道、とりわけ南空知地方でも、特に１月上旬から中旬にかけて急激に積雪量が増加し、様々な被害をもたらしました。

除雪が間に合わなかったため路上で自動車が立ち往生し、公共交通機関は軒並み運休または遅延。街中では車道にも歩道にも雪が積み上げられ、歩行者にとっても自動車を運転する人にとっても見通しが非常に悪くなりました。また、見通しの悪さと道路の凹凸のため渋滞になるなど、市民生活に大きな影響を及ぼしました。

農業分野でもビニールハウスや納屋が倒壊してしまうなどの被害が連日のように報告され、ＪＡそらち南でも玉ねぎの育苗ハウスの他、花き、椎茸等のビニールハウスや納屋等に被害が及びました。ＪＡには被害の報告が何件も寄せられており、今後の天候次第ではさらに被害の拡大も懸念されます。

降雪により毎日昼夜を問わず雪かきに追われる中、作業中に話を聞かせてくれた皆さんからは「今年は本当に雪が多い。地区によっては岩見沢にも負けていないのでは。この先どのくらい降るのか」、「雪解けも例年より遅れるだろうから畑起こしや種まきはいっつかからできるのか」などと、今後の天候や春の農作業を心配する声が聞かれました。

ＪＡ駐車場の除雪作業では、青年部員の皆さんに御協力いただき大量の雪を運搬することが出来ました。ありがとうございます。

最後に、今回の大雪で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。



倉庫屋根の除雪作業



まさに雪の壁

ビニールハウス雪害状況

1月27日現在

	全 壊	半 壊	その他	合 計
栗山地区	27	18		45
由仁地区	12	4	1	17
合計	39	22	1	62

平成23年度水稻仮配分を審議

第2回農事組合長会議開催



説明に聞き入る出席者の皆さん



エゾシカ対策について説明する島局長

1月19日、JA本所3階大会議室において、栗山地区の第2回農事組合長会議が開催されました。

JA中島代表理事専務の挨拶に続き、平成22年度戸別所得補償モデル対策交付金の交付時期や申請額、平成22年度の実施事業について農業振興課・富樫職員より報告があり、続いて平成23年度水稻仮配分について生産数量目標並びに面積配分の基本的な考え方、配分数量確定までの具体的な過程が説明・審議されました。

審議の後には、栗山町産業振興課・福田参与から栗山町の有害鳥獣による農業被害状況について、エゾシカによる被害を中心に被害額が爆発的に増加していることが報告され、また、「栗山町エゾシカ農業被害緊急対策」のエゾシカ侵入防止柵自力施工について、農業振興公社・島局長より設置される地域、距離、施工区の設定、助成などの説明がありました。出席した皆さんは真剣に報告・説明に耳を傾けていました。

温泉で楽しむひととき

年金友の会栗山支部の湯治

1月17日から19日にかけて、年金友の会栗山支部の温泉湯治の旅が登別温泉石水亭で実施され、今年は58名の皆さんが参加しました。

参加者の皆さんは、行きの車中から様々な話に花が咲き、到着後には大半の人が早速温泉を堪能しているようでした。

宴席では美味しいお料理やお酒、カラオケなどで大いに盛り上がり、2次会・3次会に繰り出す人あり、それぞれの部屋で宴会の続きをするなど思い思いに楽しんでいました。

2日目は午前中から何度か入浴する人や、温泉街を散策する人、部屋でのんびりと過ごす人と、みなさんがそれぞれ自由な時間を満喫し、2回目の宴席でも前日と同様に盛り上がりを見せました。

楽しい湯治もあつという間に時間が過ぎてしまい、3日目に帰路につきましたが、参加した皆様は少し名残惜しく思いつつも、また来年も参加しようと考えておられました。



挨拶する森会長



美味しい料理を前に心も弾みます

新役員執行体制が決定

青年部・女性部通常総会開催

1月14日と21日、JA本所3階大会議室においてJAそらち南青年部と女性部の第2回通常総会がそれぞれ開催されました。

総会では、平成22年度事業報告並びに収支決算について報告され、平成23年度事業計画並びに収支予算が承認されました。特に、平成22年度事業報告では出席した皆さんが実施された事業にまつわる自身の思い出を振り返りながら、注意深く報告を聞いていました。

総会の最後には新役員の紹介があり、橋本尚彦新青年部長（三川支部）は「3年目の青年部活動を精一杯盛り上げていきたい」とご自身の意気込みを表し、高畑春代新女性部長（栗山支部）が「皆さんの力を借りて頑張りたい」と、女性部の皆様に協力を求め、平成23年度の活動の幕が開きました。



橋本新青年部長（左端）



新JA青年の歌を唄う皆さん

平成23年度青年部役員

部 長	橋本 尚彦	（三川支部）
副 部 長	吉本 聖二	（三川支部）
副 部 長	細山 拓也	（栗山支部）
書 記 長	上田 喜也	（由仁支部）
事業部長	水上 秀樹	（栗山支部）
事業部長	南 洋一	（由仁支部）
監 事	川合 央紀	（由仁支部）
監 事	名内 稔弘	（栗山支部）
参 与	高野 龍一	（栗山支部）

青年部構成員：118名

平成23年度女性部役員

部 長	高畑 春代	（栗山地区）
副 部 長	窪田 智子	（由仁地区）
副 部 長	川崎 幸子	（栗山地区）
監 事	杉本 信子	（由仁地区）
監 事	大野美代子	（栗山地区）
相 談 役	鈴木 恵子	（栗山地区）

女性部構成員：107名



高畑新女性部長



議案に目を通す女性部の皆さん

営農指導課のページ

ページの開設にあたって

営農部営農指導課長 棚田 和也

今月号より、そらち南農協広報誌の貴重な1ページを利用して、営農指導事業の一環として、農業生産に係る様々な話題をタイムリーに掲載する、営農指導課のページを設けることに致しました。

昨今、農業情勢がめまぐるしく変化する一方で、大規模な気象変動による農作物への直接的被害や、生産基盤の悪化により収量・品質が低下するなどの問題が深刻化しています。

この様な状況下にあっても最も重要なのは、作物の生育環境を良好に保持し、健康で頑強な作物を育てることであると考えます。

今回開設いたしましたページでは、組合員の皆様には有用と思われる広範囲な情報を提供すべく努力して参ります。

皆様の叱咤激励を賜りながら、愛読いただける内容にしていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

農作物病害虫図鑑に

載っていない病害虫

昨年の三月に組合員の皆さんに配布しました農作物病害虫図鑑に載っていない病害虫の発生が確認され、話題になりましたので紹介します。

① 秋まき小麦の萎縮病

昨年の6月上旬、何力所かの畑で、葉が鮮やかな黄色になつて萎縮する症状が発生しました。中央農試に診断をお願いし、新病害であることが解りました。この病気は、既に発生している「縞萎縮病」と同じ性質なので、今後の発生に注意が必要で



② 麦類のムギキモグリバエ

昨年の6月下旬、秋まき小麦の白穂が話題になりました。銅欠乏であるとの説もありましたが、「ムギキモグリバエ」の食害によるもので、古くから発生しています。

この虫の被害の特徴は、白穂になつている莖の最上位節より上の葉鞘を剥がすと、写真にあるような線状に盛り上がった食害痕があることです。



一般的には発生が少ないので、防除を考える必要はありませんが、春まき小麦では多発することがあります。

このページへの意見や問い合わせは、営農指導課にお願いします。電話七二・一四〇九

注目したい新品種

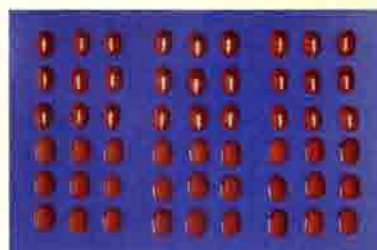
そらち南農協管内で、良好な結果が期待できる新品種を、順次紹介して行きます。

① 小豆「きたあすか」

平成22年、十勝農試発の品種で、空知地方で栽培すると特に良い結果が得られる品種です。

品種候補(十育155号)の段階で、栗山の水上孝夫さんと由仁の田中勲さんに、加工試験用の栽培をお願いし、良好な結果が得られています。また昨年は、栗山の直江孝由さんに採種栽培をお願いしております。

粒が大きく多収で、この地域で栽培しても粒色がやや淡いので、実需の評価が高いのが特徴です。



左からエリモシヨウズ、きたあすか、しゅまりです。写真は十勝農試から借りました。

文責：技術アドバイザー

尾崎 政春

長・農事組合長名簿

● 由仁地区 ●

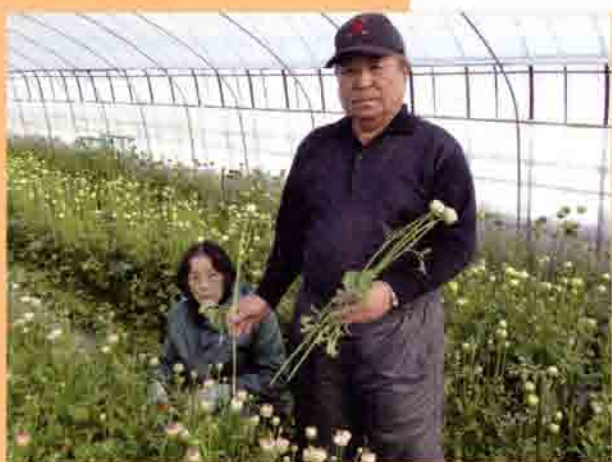
農事組合名	自治区長名	農事組合長名	戸 数
山 形	三木田 章	橋口善一郎	10
古 川	黒田 良行	新関 悟	27
伏 見	田中 勲	森長 幸勇	6
下 古 山	牧野 勝美	渡部 勝美	25
山 桝 北	山田 正人	佐藤 和成	21
山 桝 南		渡辺 好弘	14
上 岩 内	藤田 佳久	早坂 寿博	27
中 岩 内		川合 昭文	20
下 岩 内		山本 洋義	26
古 山 北	蛇谷 靖	佐藤 弘之	20
古 山 南		三谷 孝裕	17
熊 本	小林 勲	藤田 智良	17
西 三 川 北	黒田 和芳	新屋 明泰	16
西 三 川 南		鷹 修	15
本 三 川 北	原田 政信	河端 賢治	17
本 三 川 南		岩崎 博之	21
中 三 川 中 央	田中 昭一	畑山 友栄	16
中 三 川 西		田中 範之	9
東 三 川 東	前田 政男	川端 敦	15
東 三 川 南		蛇谷 清	10
東 三 川 平 成		沢田 裕	9
東 三 川 中 央		朝比奈三郎	13
東 三 川 北		山崎 好彦	15
川 端 北 部	長谷 清二	斉藤 覚志	15
川 端 中 央		鎌野 芳勝	17
川 端 み な み		新谷 雄二	14
(戸数 432戸 農事組合数 26)			

平成23年度自治区

● 栗山地区 ●

農事組合名	自治会長名	農事組合長名	戸数	農事組合名	自治会長名	農事組合長名	戸数
栗山第二	鳥村 武雄	鳥村 武雄	5	共和第一	斉藤 幸浩	斉藤 茂雄	9
		(澤田 善次)	1	共和第二		亀田 博	6
桜 丘	卜部 璋一	堂間 良一	3	共和第三			西山 健治
山 の 手		頓所 年行	1	三 日 月	武田 孝	水本 秀幸	15
富 士	高山 清明	水上 信市	21	角 田	市川 耕一	—	0
中 里	藤柳 誠一	山本 勝一	18	阿野呂第一	富沢 栄	沢田 久雄	13
湯地第一	寺 雅彦	清水 哲雄	13	阿野呂第二		中野 良一	11
湯地中央		中山 邦夫	1	大 井 分	渡会 羊一	大西 勝博	16
湯地第三		大浦 眞一	6	南学田第一	大川 一夫	山本 進	9
森	山口 博	山口 博	1	南学田第二		芳賀 正己	11
鳩山第一	堀田 幸蔵	藤本 秀雄	7	南学田第三		幅田 正志	8
鳩山第二		三好 敏英	7	南学田第四		栗野 正	8
鳩山第三		高橋 利雄	5	南学田中央		千葉 周作	12
雨煙別南	正井 文雄	小泉 弘人	5	継 立	木内 勲雄	川崎 晴市	17
雨煙別西		竹田 功	6			(太田 和敏)	1
雨煙別東		石井 裕治	4	日出第一	佐藤 清光	寺島 正晴	6
昭 和	正井 文雄	2	日出第二	小野寺 均		3	
緑丘第一	中谷 光一	背戸 孝義	4			(松永 光雄)	1
緑丘第二		鳥村 正行	6	日出第三	谷口 美博	6	
緑丘第三		橋場 一敏	10	御園第一	山本 修	13	
北学田西	井内 弘	坂本 隆紀	13	御園第二	柿本 好美	国田 俊雄	11
北学田東		中川 正美	21	御 園 北		高橋 勝弘	13
桜 山	直江 孝由	直江 孝由	24	南角田第一	松田 玉雄	堀田 博	12
杵臼第一	井波 俊一	坪坂 孝義	11			(尾上 敏雄)	1
杵臼中央		西川 満	8	南角田第二		斉藤 幸博	7
杵臼第三		山田 信孝	11	円山第一	鈴木 正志	4	
杵 臼 南	水内 正博	清水 栄一	10		横山 延一	(山田 浩)	1
旭台第一		西山 一郎	4	円山第二		佐藤 好美	13
旭台第二		川畑 憲吾	2			(菅野 信勝)	1
旭台第三		滝沢 満	6	東 山	日原 和夫	土門喜一郎	7
旭台第四		広坂 公宏	5	滝下第一	亀田 孝	川浦 慶一	7
旭台第五		田村 俊彦	8	滝下第二		池田 康平	1
(戸数 499戸 農事組合数 57)							

各地区の作業風景



由仁地区岩内 義忠さん

1月22日、花き（ランシキユラス）の収穫

*ご夫婦で手分けしての手摘み作業



栗山地区北学田 (有)井内農場

11月21日、軟白長ねぎ収穫・選別作業

*農場長の井内弘さんが井内農場のマドンナ2人を紹介してくれました

研削精米機
RME25A



色彩選別機
RMGS560AMS



この度、本所4号倉庫の色彩選別機（サタケ製RMGS560AMS）と研削精米機（サタケ製RME25A）を払い下げることになりました。日程につきましては、入札申込締め切りを2月末、入札実施日を3月下旬に予定しております。詳しくは販売部米麦畜産課までお問い合わせ下さい。

電話 72-11416

払い下げ機械のお知らせ

インフォーメーション
南空知NOSAIからの

今年は近年稀に見る大雪で、冬のハウス被害が多くなっております。2月以降もいつ豪雪になるか分かりません。



今年は雪が多いけど、ハウスは大丈夫かな？



NOSAIの園芸施設共済はご存知ですか？

設置面積 6.0m × 50m
ビニール 新品 (0.1mm)
パイプ 5年経過・太さ28.6mm
以下

の場合 掛金1ヶ月あたり 約186円

雪害は勿論、風水害、ひょう害、その他気象上の原因による災害、火災、破裂なども対象になります。

詳しくは、南空知NOSAIまでご連絡ください。

南空知NOSAI

TEL 0123-88-3233
FAX 0123-88-2602

女性農業者の皆さん、 あなた自身の年金を！

女性農業者の皆さん、老後の備えは万全ですか？

現在65歳の日本人の平均余命は、男性が18.6年(83.6歳)、女性が23.6年(88.6歳)です(厚生労働省「平成20年簡易生命表」より)。女性の老後は男性以上に長い道のりです。

農業者年金は女性農業者の老後をしっかりとサポートします。

母さんには母さんの年金が必要じゃ！

掛けてて良かった
農業者年金！

家族経営協定を結べば、保険料の国庫補助も受けられます！

認定農業者で青色申告をしている夫と家族経営協定を結んで農業経営に参画している妻も保険料の国庫補助が受けられます(月額最高1万円)。

農業者年金は農業の担い手をしっかりと応援します。

女性農業者の老後は、国民年金＋農業者年金が基本です！

国民年金の支給額は月額最高6万6千円、夫婦お二人で13万2千円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で23万円が必要になるというデータがあります。

→月額約10万円不足

農業者年金は国民年金の不足分をしっかりとカバーします。

農業者年金へのご加入がご主人だけでは、先にご主人が亡くなった時、妻であるあなたの老後の支えは国民年金だけになってしまいます。



農業者年金のその他のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金。
- 保険料の額は月額2万円～6万7千円の間で自由に設定・増減が可能。
- 一生受け取ることができる終身年金。80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までの保証付き。
- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象(民間の個人年金(生命保険料控除)では5万円が限度)。

お問い合わせは地元の農業委員会、JAにおたずねください。

独立行政法人 農業者年金基金

〒105-8010 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル5階 TEL03-3502-3942(企画調整室)

老後の備えは、
農業者年金
で安心！

「耳の聴こえ相談会」開催 のお知らせ

ホクレン商事・補聴器チームの相談員が聴こえに関する様々な相談に応じます。お気軽にお越しください。

日 時	開催場所
3月15日 午前10時～午後1時	由 仁 町 民 セ ン タ ー
3月18日 午前9時～午後12時	JAそらち南本所1階第2会議室
3月18日 午前1時～午後4時	JAそらち南継立出張所2階和室

平成23年度営農計画書 集中受付の実施について

1. 日 時：下記の日程表の通りご連絡致します。
2. 持ち物：平成23年度営農計画書・保証書・クミカン登録印・関係する手持ち資料
3. 注 意：営農計画書は、各自事前に記入してお持ち下さい。

【栗山地区】

日 付	場 所	時 間	対 象 地 区
2月17日 (木)	本所 3F 大会議室	9:00～12:00	栗山 桜丘 山の手 富士 中里 湯地 森
		13:00～16:30	鳩山 雨煙別 昭和 緑丘
2月18日 (金)		9:00～12:00	北学田 桜山 杵臼1・杵臼中央
		13:00～16:30	杵臼3 杵臼南 旭台
2月21日 (月)		9:00～12:00	共和 三日月 角田 阿野呂
		13:00～16:30	大井分 南学田
2月22日 (火)		9:00～12:00	継立 日出 御園1・御園2
		13:00～16:30	御園北 南角田 円山 東山 滝下

【由仁地区】

日 付	場 所	時 間	対 象 地 区
2月17日 (木)	由仁支所 3階 大会議室	9:00～12:00	山形 古川 伏見
		13:00～16:30	下古山 山楸
2月18日 (金)	由仁支所 3階 大会議室	9:00～12:00	中岩内 古山
		13:00～16:30	上岩内 下岩内
2月21日 (月)	由仁営農 センター	9:00～12:00	西三川 熊本
		13:00～16:30	本三川 中三川
2月22日 (火)	由仁営農 センター	9:00～12:00	東三川東 川端
		13:00～16:30	東三川南 東三川平成 東三川北 東三川中央

農協職員認証試験合格者発表

《上級》

由仁営農センター課長補佐

継立出張所金融係長

西村 嘉博

営農部農業振興課

村中由香里

金融部共済課

高田 祥太

角屋 卓実

《中級》

金融部共済課

森 政徳

販売部馬鈴しよ玉ねぎ課

加藤 大典

営農部農業振興課

高橋 慎治

販売部米麦畜産課

吉田 拓

販売部米麦畜産課

渡辺 鮎美

販売部野菜花き課

佐藤 千尋

販売部野菜花き課 (MW)

府川 麻姫

由仁支所金融共済課 (MW)

今村 栄子

《初級》

由仁営農センター販売係 (MW)

北川美津穂

第12回理事会報告

日時 平成22年12月20日（月）
午後3時より第12回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

総務委員会報告
農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 給与規程の一部変更について
議案第2号 経理規程の一部変更について
議案第3号 利益相反管理方針の一部変更について
議案第4号 利益相反管理規程の一部変更について
議案第5号 出資金の承認について
議案第6号 平成23年度役員報酬について
議案第7号 職員に対する年末賞与の支給について

第13回理事会報告

日時 平成23年1月20日（木）
午後3時より第13回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

総務委員会報告
経済委員会報告
農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 北海道常例検査に対する改善状況等の報告について
議案第2号 自己査定マニュアルの一部変更について
議案第3号 信用事業方法書の一部変更について
議案第4号 組合員に対する資金の貸付について
議案第5号 職員に対する期末賞与の支給について

第14回理事会報告

日時 平成23年1月26日（水）
午後2時より第14回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

各部報告

【審議事項】

議案第1号 平成23年度事業計画について
議案第2号 平成23年度職員定期昇給について
議案第3号 公用印管理規程の一部変更について
議案第4号 （株）メリーワークの平成23年度事業計画について
議案第5号 平成22年度強い農業づくり事業（食料自給率向上対策）について
議案第6号 第1回臨時総代会の開催について

新成人のご紹介

金融部金融課（MW）

山口 愛祐美



本年、無事成人を迎えました。三が日中に式があり、あわただしく過ぎてしまいましたが、お祝いの言葉をいただき改めて大人の仲間入りをはたしたという実感が出てきました。

昨年は職員の方々や家族にたくさん助けられ、ご迷惑をかけてきたので、社会人として少しずつ成長し、恩を返せるように頑張っていきたいと思っています。

また、組合員の方々のお力になれるよう努力していきますので、今後もしよろしく願います。

新春お楽しみクイズの答え

「そのまま」



組合長が厳正に抽選！

抽選の結果、当選者は次の方々となりました。
おめでとございました。

大賞

ペア温泉宿泊券（1名）

亀森 美智子様（栗山町朝日）

お年玉特賞

商品券5千円（1名）

牧野 輝吉様（由仁町光栄）

お年玉賞

商品券3千円（1名）

川崎 小百合様（栗山町継立）

お小遣い賞

商品券1千円（5名）

古田 千恵子様（栗山町中央）

杉本 道子様（由仁町東三川）

高橋 恵様（栗山町北学田）

水上 由美子様（栗山町富土）

河原 健太郎様（栗山町朝日）

2月の行事

11日 建国記念日

18日 第1回理事会（予定）

23日 由仁町営農懇談会

24日 平成23年度中央圏農業新技術発表会

13時～16時30分
（栗山町カルチャープラザ「Eki」）
主催 中央農業試験場
共催 花・野菜技術センター
問い合わせ・参加申込先
北海道立総合研究機構農業研究本部
電話 89-2587
（2月18日（金）まで）
参加費は無料となっております
多数のご参加をお待ちしております

組合員の動き

▽正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

△正組合員数

2月の売り出し予定 Aコープ

11～12日…もうすこして「バレンタイン」
15～16日…Aコープ得の市
18～19日…Aコープ週末感謝祭
22～23日…Aコープ88円均一
24～26日…春の農作業衣料品及び組織用品展示即売会（由仁町古山集落センター）
25～26日…もう少して「お雛祭り」セール
30日…決算棚卸のため休業
31日…決算棚卸のため午前中休業



A-COOP 由仁店・三川店

○三川店…毎週日曜日休み

JA共済からのお知らせ

大雪により納屋等の破損などが多発しています。こまめな除雪を心がけ、自動車の運転においては無理をせず車間距離を多めにとるようにしましょう。

11～12月

事故件数

自動車…71件
火災…0件
火傷…5件
累計（2～12月）
自動車…349件
火災…1件
火傷…29件

編集後記

昨年の12月号において、「少しくらい雪が降って欲しい」といったようなことを書きましたが、新年早々、とても多い量の雪に襲われてしまいました。「もう勘弁してくれ」と天に向かつて叫んでも、降り止む気配は全く無く、自分がかんたことを書いたせいでこんな目にあつたんじゃないかと後悔もしました。が、連日の雪かきにほとほと疲れ果ててしまいました。今年の南空知の積雪量は尋常ではなく、ハウスの倒壊など甚大な損害を被っている方も多いため、何かよい対策はないものかと思っています。さて、2月から新年度になり、JAそらち南も3年目を迎えました。世間では「勝負の3年目」とか「3年目の飛躍」などと言われ、3年目に結果を残すことや決断することが求められているようです。個人的にも、今年こそこれまでとは違う年にすべく、チャレンジ精神でまい進したいと思っています。でも、毎年同じことを言っている気がするなあ…



そらち南 くみあいだより

2011 2月号 Vol. 25

■発行 2011. 2. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス http://www.ja-sorachiminamior.jp
メールアドレス info@ja-sorachiminamior.jp
印刷/山東印刷